

# 国際学術コミュニケーション委員会報告

## SPARC/JAPAN プロジェクト活動報告

### 1. プロジェクト会議及び説明会・セミナー等の開催状況

#### (1) プロジェクト打ち合わせ

7月15日(金)(国立情報学研究所)

- ・今年度の活動内容について検討

9月13日(火)及び10月13日(木)(国立情報学研究所)

- ・大学研究者の研究活動及びオープンアクセスに関する意識調査の実施案を検討

#### (1) 国立情報学研究所との協議等

第一回運営委員会(6月6日(月)/国立情報学研究所)

- ・平成17年度事業計画等を決定

第二回運営委員会(10月13日(木)/国立情報学研究所)

- ・参画英文誌の追加選定について及び大学研究者意識調査の実施について

#### (2) 各種説明会及びセミナー等

UniBio Press の挑戦 - 学会の新しいビジネスモデル(7月20日(水)/茨城大学附属図書館)

- ・茨城大学附属図書館主催、NII 共催、59名参加

学術コミュニケーションの今日：SPARC/JAPAN の挑戦(山口大学図書館セミナー2005)(9月15日(木)/山口大学図書館)

- ・山口大学図書館主催、74名参加

SPARC/JAPAN 連続セミナー「電子ジャーナル時代の学術情報流通を考える」

- ・NII 主催
- ・第1～5回(5～10月)開催済み、第6～9回(11～2月)開催予定
- ・第3回(7月15日)土屋主査講演

### 2. 今後の活動予定

#### (1) 大学研究者の研究活動及びオープンアクセスに関する意識調査の実施

大学内の研究者の研究活動及びオープンアクセス(オープンアクセス・ジャーナル、セルフ・アーカイビング及び機関リポジトリ)に関する意識についてアンケート調査を、NII と共同で実施する。

#### (2) 「国際学術情報流通基盤整備事業」による採択誌のパッケージ販売について大学図書館への宣伝活動を行う。

#### (3) 図書館員への広報活動

引き続き、図書館関係雑誌への関連記事の投稿を行うほか、各種研修会、講習会、セミナー等の機会を捉えて、図書館への広報を行う。

(3) 機関リポジトリの普及活動

学術コミュニケーションの改善策の一つである「機関リポジトリ」については、学術情報委員会デジタルコンテンツ・プロジェクトとも協力・連携をとり、その必要性についても、広報活動を行う。